

労働衛生検査精度向上研究会について

当研究会は、平成2(1990)年 に労働衛生検査の分析精度の向上を目的に設立され、佐賀大学医学部の市場正良教授を顧問に、5検査機関（(株)エスールエル、(株)江東微生物研究所、(株)ビー・エム・エル、(株)保健科学研究所、三菱化学メディエンス(株) と、5健診機関、(一財)神奈川県予防医学協会、(一財)近畿健康管理センター、中災防労働衛生調査分析センター、関西労災病院産業中毒研究センター、パナソニック産業衛生科学センター および(公社)全国労働衛生団体連合会で構成されています。

当研究会は、年6回隔月に開催され、分析機関比較としてのクロスチェックの実施を通じて分析法の標準化、分析値の収束などの取組みを行い、受診者と健診機関、検査機関と連携を図って、分析精度の維持・向上に努めています。

労働衛生検査精度向上研究会

代表 関 顯